

令和3年度 福石小学校校内研究計画

校内研修部

1 研究主題

『生き生きと学ぶ児童の育成をめざして』
～基礎基本を重視した表現力を高める手立てを通して～

2 主題設定の理由

生き生きと学ぶ児童の育成をめざして、全職員が授業を公開して表現力を高める授業を行ってきた。その結果、学級集団で学ぶ力やよりよく表現しようとする児童の姿が見られてきた。表現力を高めることにより、子どもの生活場面においても、自分の考えを伝えたり相手のことを理解したりすることでき、児童の生活が豊かになる一助ともなる。

また、昨年度から、新学習指導要領が完全実施され、ここに次に掲げられた以下の3つの資質・能力を育成することが重要だとされている。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること
- (3) 学びに向かう力、人間性を涵養（かんよう）すること

表現力を高めるためには、(1)の知識、技能習得も大事な要素である。つまり、それに必要な力、基礎基本を明確にすることも重要となってくる。さらに、それらを系統的にとらえることで、小学校生活6年間を通して、子ども達は力をつけていく。

今年度は、研究に取り組む教科を各学年部で決定する。そして、子どもたちが「楽しい。学びたい。わかった。できた」となる授業を行いたい。そのような授業を重ねていくことで、思考すること、表現することの楽しさ・喜びを感じ、生き生きと学ぶ児童に育っていくものと考えている。

3 研究の目的

- 各教科等において、学習のゴール（めざす子どもの姿、表現したもの）とそれに必要な力や情報を明確にして目標を達成する。
- 思考し、判断して表現する場において、対話（ペア・グループでの相互交流、全体交流など）を適切に取り入れることによって、子どもたちが表現することを楽しみ、主体的に学ぶことができるようにする。

4 研究仮説

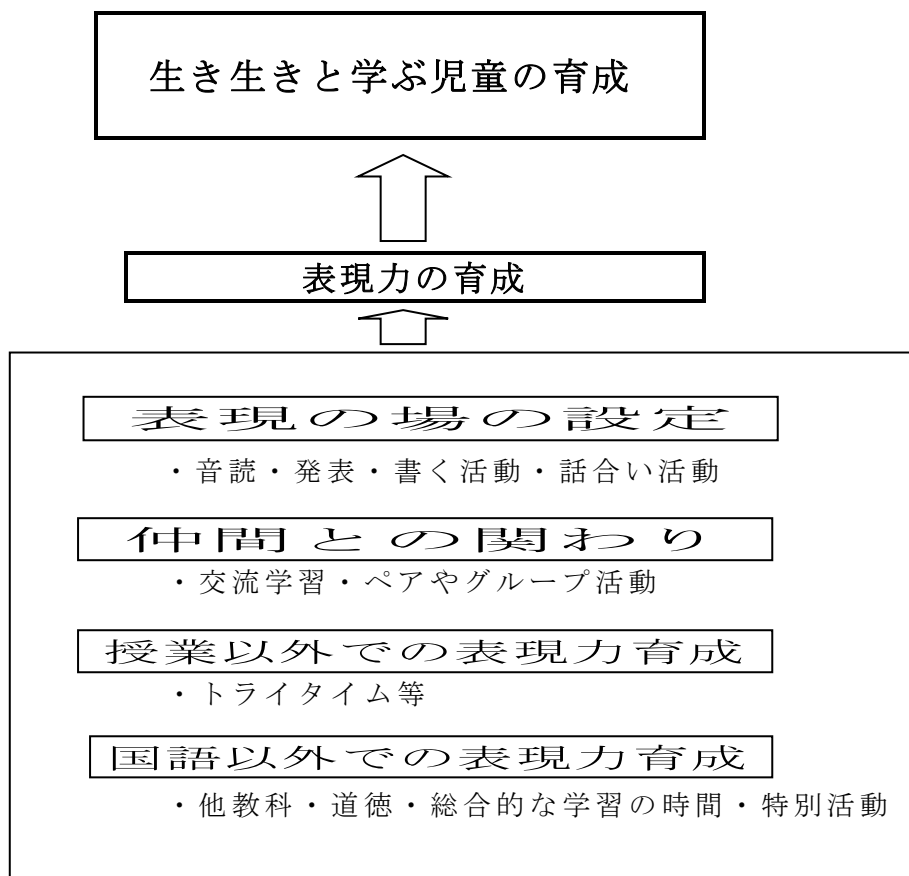
- 学習のゴールと、それに必要な力や情報を明確にし、表現力を高める手立て（教材、めあて、相互交流、掲示物や板書等）を工夫すれば、一人一人の表現力が高まり、主体的に学習しようとする態度が育つであろう。

5 研究の内容

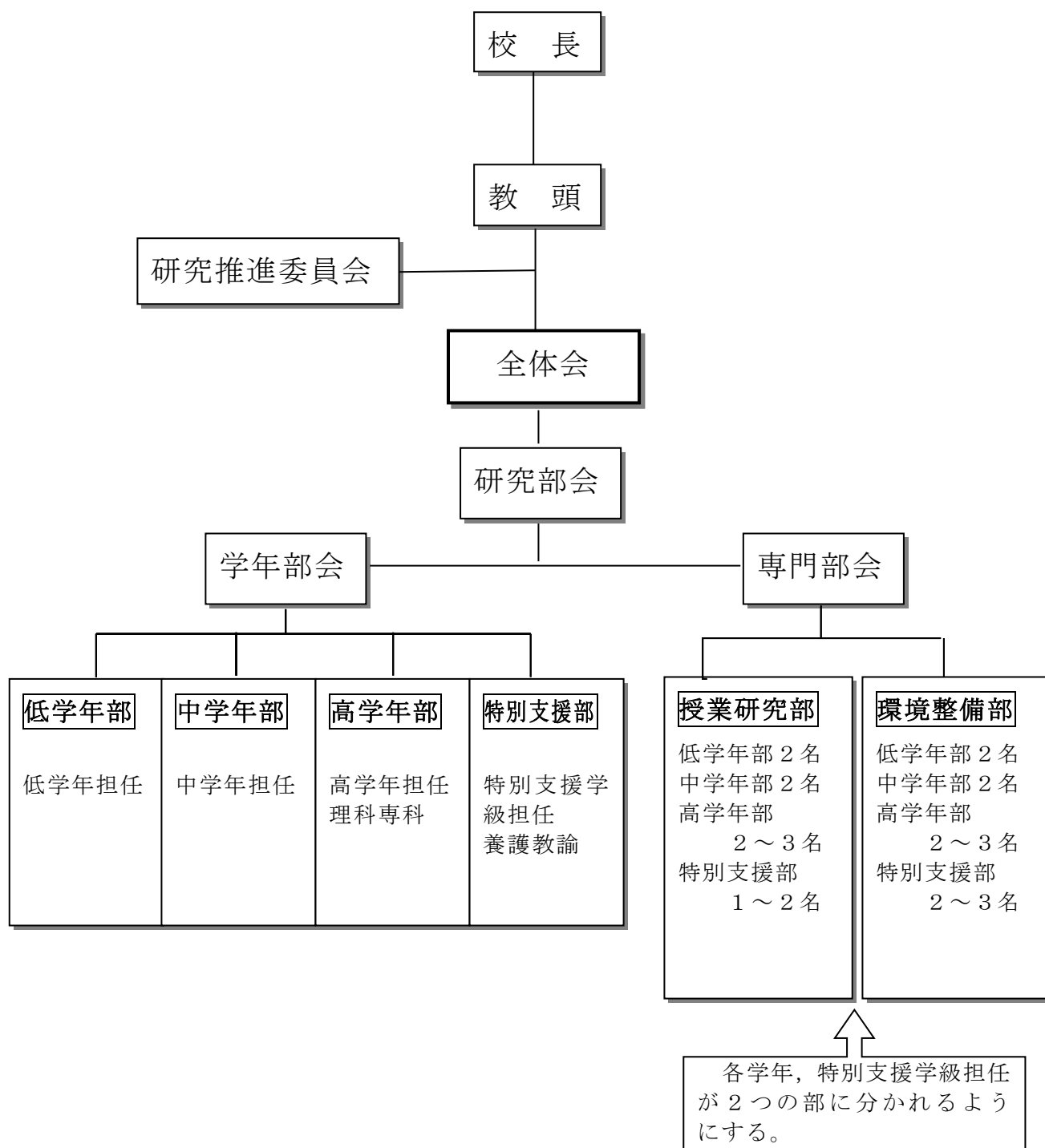
- ① 授業研究（低・中・高学年部・特別支援部）を中心とした、表現力を育成するための研究。
（学習指導要領における学習のゴールの姿とそのために必要な力、情報を明確にすること。）
- ② 特別支援教育の推進。
- ③ 授業以外（トライなど）での表現力育成のための実践。（作文発表・詩の朗読等）
- ④ トライタイムの活用。（補充発展プリント・音読など）
- ⑤ キャリア教育，プログラミング教育の推進

6 研究の方法

- ① 学年部会は低学年部・中学年・高学年・特別支援部の4つの部会で構成し，部会で研究授業を1つずつ行う。もう一方の学年は，学年で話し合って構想シートを作成して実践を行う。
- ② 授業を中心に実践的研究を進め，その都度，仮説の検証を行う。
- ③ 専門部（授業研究部・環境整備部）を設定し，系統だった授業の実践や校内環境の充実を図る。
- ④ 各授業はもちろん朝の会や集会活動などでも，表現活動を取り入れて，表現の場を設定する。
- ⑤ あらゆる場で学習規律についての指導をしたり，トライタイム等で言葉遊びや話し合い活動をしたりして，いい雰囲気の中で子どもたちに言葉にふれあう機会を多く設定する。



7 研究組織



※今年度，新しく取り組んでいただきたいこと

授業開始時の3人発表・・・授業開始時に前時のめあてやまとめや学習内容，本時のめあて等の確認を行うことで，前時のふり返しを行うとともに本時の学習の見通しをもたせる。